

登別小学校保護者 各位

登別市立登別小学校長
松田周一

保護者アンケート・児童アンケートの集計結果（前期）について

6月中旬から下旬にかけてWeb入力方式で行いました保護者アンケートに対しましては、多くの保護者の方にご協力をいただき誠にありがとうございました。集計結果がまとまりましたので、児童アンケートと合わせてお知らせいたします。

保護者アンケート

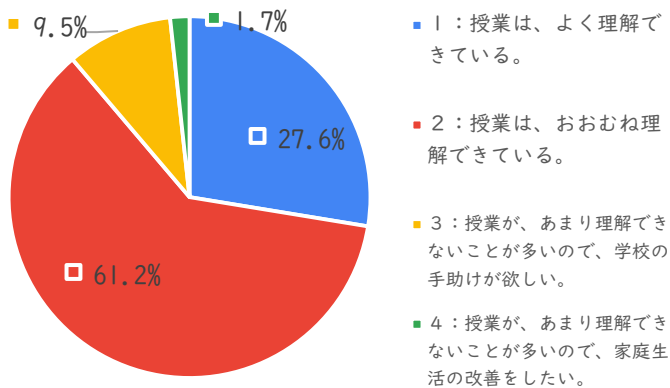
1、回答数 116 (87.2%) ※前回 103 (79.8%)

※パーセンテージは、児童数を100と見た時の回答数の割合です。（今年度児童数133名）
ご回答にご協力いただき、誠にありがとうございました。

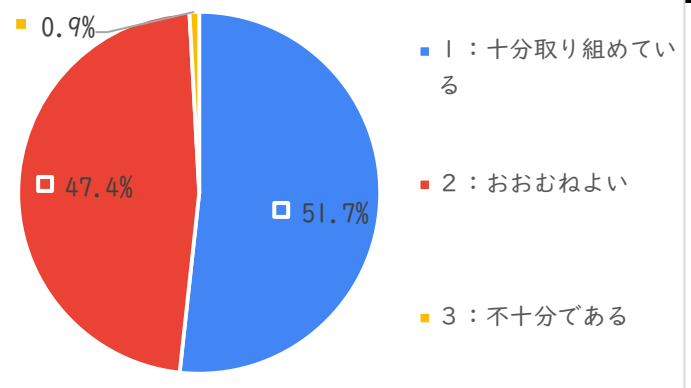
2、集計結果

(1) 学校の取組について

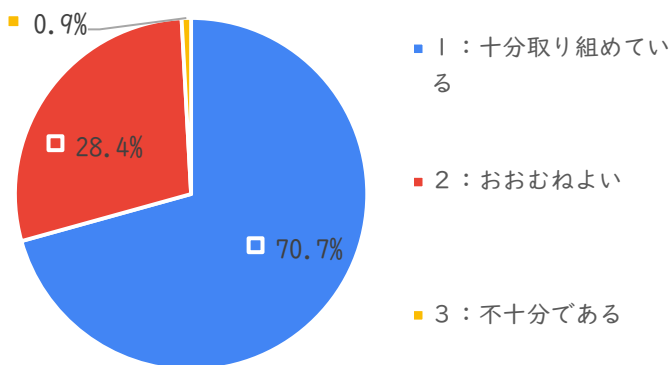
1. 登別小学校は、『共生』（すべての子どもが）、『協働』（楽しく学び合い）、『表現』（わかる・できるを実感し）、『継続』（自ら学びを積み重ねていく）をキーワードに、子どもたちがお互いを高め合える授業を目指しています。お子さんの状況に近いのは、どれでしょうか。



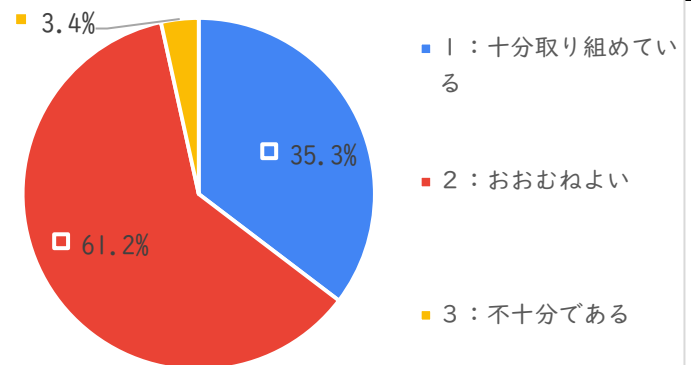
2. 登別小学校では、「心豊かで自他の違いを認め合える学級づくり」を目指し、道徳教育や読書活動、学級活動、日常の学級経営などに取り組んでいます。この取組について、どう思われますか。



3. 登別小学校では、「たくましく生きるための健康や体力づくり」のため、アウトメディアチャレンジ、とんぼタイム、体育コーディネーター（外部講師）、歯みがき指導などを行っています。この取組について、どう思われますか。

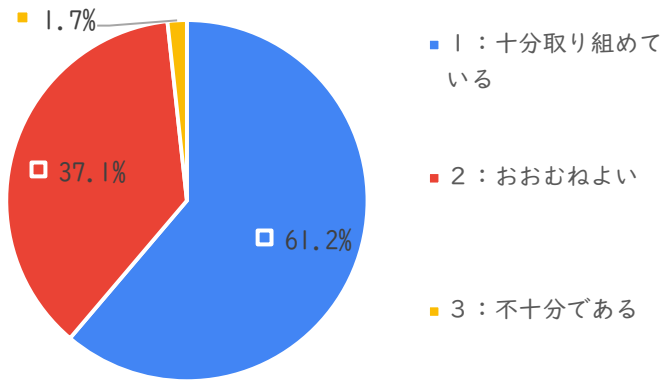


4. 登別小学校では、いじめ防止基本方針に基づいて、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組んでいます。この取組について、どう思われますか。

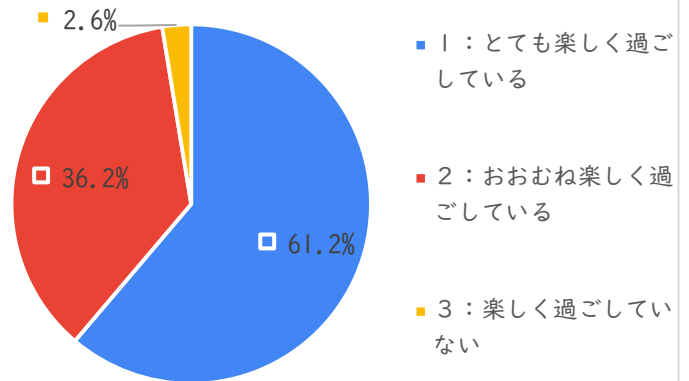


本校の教育目標である、よく考える子(知)・体をきたえる子(体)・仲良く助け合う子(徳)・がんばりぬく子(意)のそれぞれの面で、おおむねよく取り組んでいるという評価をいただきました。1.では、「十分に理解できていると感じている保護者の割合」が8%程度上昇している反面、不十分と感じているご家庭も約3%増加しました。学校では、今後とも、個に合わせたきめ細やかな指導に努めてまいります。3.に関しては、十分である旨の回答が、前回比18%増でした。これは、コロナ禍による一部制限していた教育活動の再開の影響もあろうかと存じます。4.では、「不十分」の回答が前回から4%程度減少しておりますが、学校としては、どの子も安全・安心な学校生活を送ることができるよう、今後とも、いじめの予防的指導、積極的認知、早期発見・早期解決に努めてまいります。

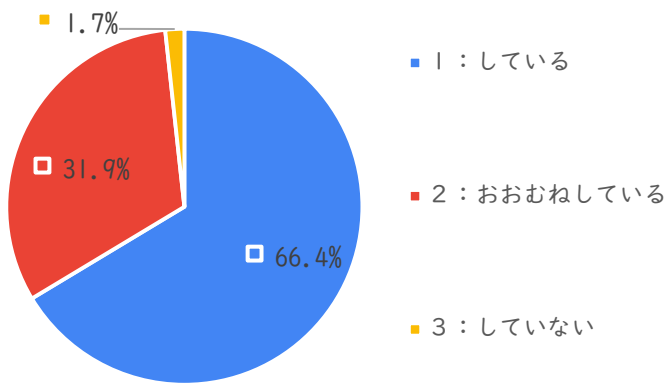
5. 登別小学校では、学校だよりや学年通信、ホームページ、YouTube、さくら連絡網によるメール配信などにより、情報をご家庭に伝えています。この取組について、どう思われますか。



6. お子さんは、学校生活を楽しく過ごしていると思いますか。



7. 担任は、必要に応じ、お子さんの話を聞いたり、相談にのったりしていますか。



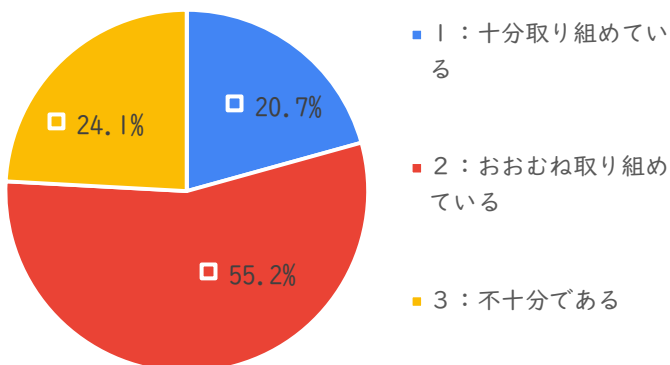
5. の学校からの情報発信については、「(おおむね)十分である」旨の回答を多くいただいております。今後とも、丁寧かつスピーディな情報発信・情報共有に努めてまいります。ご家庭でも、お子さまや学級についてご心配・気になることがございましたら、その都度、気兼ねなくご連絡ください。

6. の子どもたちの学校生活については、とても楽しく過ごしている肯定的な回答が約6%程度上昇している一方、楽しく過ごしていない旨の回答に大きな変動はありませんでした。これは、7. の質問でも同様です。特に7. については、**お子さんごとの悩みに応じて、6月上旬、11月中旬の教育相談期間以外にも、いつでも個別に対応いたします。4. のいじめに関する対応も含め、今後も何かございましたら、お気軽に学校や担任までご相談ください。**

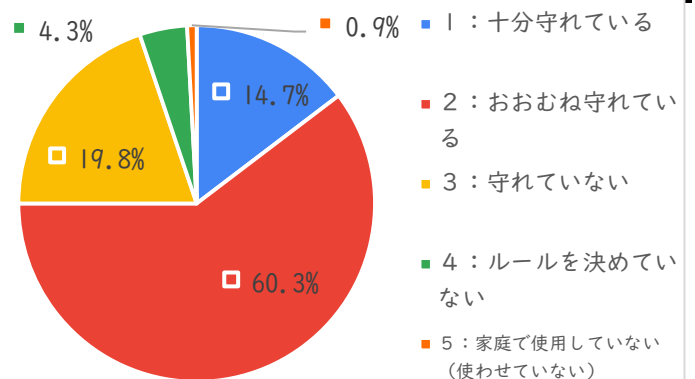
また、本校には、約2週間に1回の木曜日午前中、スクールカウンセラーが来校しますので、こちらのご活用や、定期的にさくら連絡網でお知らせしている各種相談窓口のご活用もご検討ください。

(2) 家庭での様子について

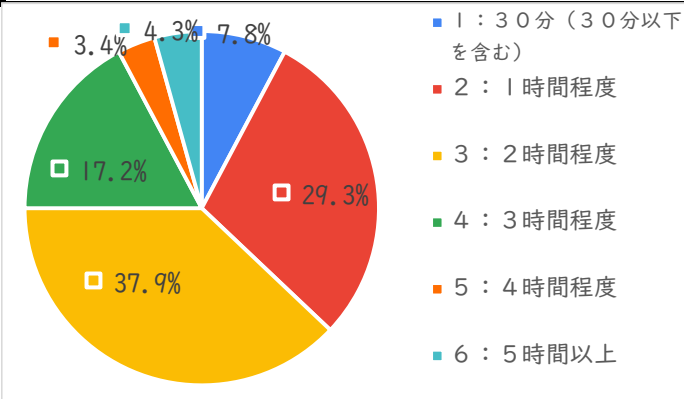
8. お子さんは、学年に応じた時間(学年×10分以上 ※4年生 4×10=40分以上)、家庭での学習に取り組んでいますか。



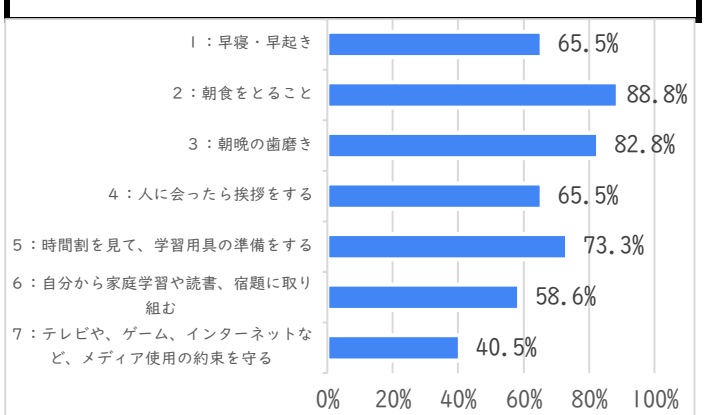
9. お子さんは、スマートフォンやタブレット機器、ゲームなど電子メディアの使用時間、SNSの使い方について、ご家庭での約束を守れていますか。



10. お子さんが家でゲームやスマートフォン(タブレット)、テレビ、インターネット、メール、SNSなど電子メディアに触れている時間はどれくらいですか。



12. 現在、お子さんに身に付いていると思う生活習慣はどれですか。あてはまるものを全て選んでください。



8. 家庭学習については、十分、またはおおむね取り組んでいると感じている保護者が、全体の約76%となりました。これは、前回のアンケートから約3%の減少です。9. 電子メディア使用の約束については、肯定的回答値が、約8%程度改善する結果となりました。

児童アンケートと比較すると、電子メディア使用の約束については、約94%の児童が、「家での約束を守れている」と感じており、「約19%程度の意識の違い」が見て取れます。

また、児童アンケートでの、家庭学習の時間に関するは、概ねどの学年でも、学年×10分を大きく下回ることはありませんでしたが(学年×10分以上学習していると回答した児童の割合は全体の「76.5%」)、でこの回答値は、昨年度と比べ児童でも5%程度下回る結果となっており、不十分と感じている約25%の保護者の意識と、概ね合致しています。今後も、家庭学習の「時間」と「内容」「取り組み方」については、中学校進学までに、お子さんの様子を十分に見取り、褒め・励まししながら、家庭学習習慣の定着を目指していくとよいでしょう。

10のメディアに触れている時間については、学校で子どもたちに話している一日1時間以内となっているのは、約37%。2時間以内で約75%程度という回答でした。児童アンケートと比較すると、2時間以内であれば約73%で、ほぼ合致しているものの、1時間以内と感じている児童は約45%おりますので、こちらにも、約10%程度の意識の違いが確認できました。「気が付いたら、ゲームやスマホに触っている」「テレビを何となくつけっぱなし」「インターネットをとりあえず接続しっぱなし」「家庭学習はしているようだけど、「～しながら」の時間の方が長い」という状況は、各ご家庭にないでしょうか。

改めて、ご家庭でも、勉強については「時間」「取り組み方」「内容」について、電子メディア接続については、「ルールを守っているか」「だらだらとつけっぱなし・ケジメがないということがないか」「危険なサイトにつないでいないか」など、ご確認、ご指導いただければと思います。

最後に、子どもたちに身に付いていると感じる生活習慣については、「メディア使用の約束」「早寝・早起き」に関する項目は大幅に改善傾向にあり、それ以外は、概ね前回とほぼ同程度の傾向にありました。ただ、「人に会ったら挨拶をする。」の項目は、ここ数回改善傾向にあったものの、今回は5%程度減少しています。「『挨拶』は心の窓」とよく言いますが、引き続き学校でも、「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」「ごめんなさい」が、しっかり言える登小の子どもたちに成長できるよう、職員も一同気持ちの良い挨拶に心掛けてまいります。先日は、地域の方からも、「登小の子はしっかり挨拶ができますね。」という、うれしい声もいただきました。ご家庭でも、引き続きご協力をお願いいたします。

(3) 自由記述欄から

※ 担任や児童の個人名、クラスが特定される文については、一部修正しておりますことをご承ください。この場合、修正は最小限にとどめ、**赤字**にしてあります。
なお、個別のご心配、お悩みについては、学校や担任から直接保護者様にご回答・ご連絡を差し上げるなど、ご対応させていただきます。何卒、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

◆ 言葉遣いの良くない子がいるようなので、学校でのご指導をもっとお願いしたいと思います。

→ 貴重なご意見誠にありがとうございます。学校での日常的な言葉遣いについては、今後も丁寧な指導に努めてまいります。ご家庭でも、日常的な正しい言葉遣いについては、お声がけを継続していただきますよう、お願い申し上げます。ご心配や気になることがございましたら、いつでも学校までご連絡ください。

◆ 少しは良くなったような気がしていますが、もう一度、放課後 友達の家への訪問の件（低学年は親同士の約束が無いと駄目と聞きました。）と、自転車の乗り方をしっかり話して貰えるととても助かります。 まだよくわかっていないようです。 青空教室で道路の白線（自転車通路）を走るように言われたと言いますが、ふらついていてとても危険なんです。（子供は歩道でも良いんですね？）又、歩道を自転車で走る時も、スピードを出さないように再度話して頂きたかったです。 家でも何度も何度も話していますが、先生から聞くのと効果が違うので是非お願いしたいです。

→ 貴重なご意見誠にありがとうございます。学校では、学年の別なく、基本的に保護者（または類する方）不在の自宅に、子供だけで集まって遊ぶことは、安全の観点から推奨していません。（ご家庭での方針もそれぞれございますので、決して強制ではありません。）また、自転車の乗り方についても、交通安全教室だけでなく、機を見て学級での指導・声掛けを続けているところです。今後も、児童の事故や安全の観点から、指導は継続して参ります。ご家庭でも、（これも強制はできませんが）ヘルメットの着用や、自転車事故防止のための安全な乗り方については、繰り返しお話しいただきますよう、お願い申し上げます。

◆ 週末に日記を書いて提出していますが、誤字が直されずそのままになっているので正しい日本語を教えてあげてほしいです。

→ 貴重なご意見誠にありがとうございます。ご家庭でも、毎日のお子さんの学習の内容や取り組み方を見ながら、お声がけをいただいているかと存じます。いつも誠にありがとうございます。家庭学習については、一昨年度より、学校全体で、基本的にコメントや修正等はせず、確認印（場合によってはスタンプなど）のみの対応としております。また、家庭学習の時間や取り組んだ内容を、自分（家庭）で確認・管理しながら、主体的に家庭学習に取り組むことができるように、「家庭学習取組チェックシート」などの取組を進めているところです。その日の家庭学習内容によって、気になる状況があった場合には、担任からお子さん、場合によってご家庭にお声がけさせていただく場合もございますが、基本的には上記の対応・取組に、ご理解とご協力を賜れば、幸いに存じます。

◆ 冬季の学校行事の際は、駐車スペースを除雪及び、回覧をアプリ等で明確にして頂き、簡易的でも除雪して頂きたい。

→ 貴重なご意見誠にありがとうございます。ご不便をおかけし、大変恐縮に存じます。冬のいつの行事の際のことか、担任ないし学校の方に、個別にご連絡いただければ幸いです。なお、学校の除雪については、大雪の降った直後については市の委託業者が入りますが、校内通学路と、体育館前の駐車場が最優先となり、校門前駐車場や児童クラブ玄関側は除雪が入りません。（なお、これについては、当然のことながら本校が最優先とならない場合もございます。）これ以外の場所と、小雪の場合は学校の対応で行うことが主となります。限られた人員ではありますが、保護者の皆様のご不便がないよう、対応には努めて参ります。なお、学校（PTA）では、冬季に除雪の手が間に合わない際に、随時除雪のお手伝いに来てくださる保護者の方を募集しています。積雪は急ですから、お願いをさくら連絡網で流すことはあまりありませんが、お手伝いに来てくだされば、大変幸いに存じます。

◆ 児童クラブのお迎えの際、校門前に自転車を停めて校庭で遊んでいる児童の自転車が校内道路の中央付近に駐輪している事が度々あり、自車が通る際に接触する危険性が有る。その為、今一度指導を徹底して頂きたい。

→ 貴重なご意見誠にありがとうございます。家庭に帰ってからの自転車の乗り方や駐輪の仕方については、先ほどの回答と合わせ、繰り返し指導してまいります。ご家庭でも、合わせてお声がけいただけますよう、お願い申し上げます。

◆ 運動会なのですが、一番前の席に座っている家族が椅子を持ってきて座っている人がいるのですが、一番前で椅子に座られると後ろの席だと全く見えなくなるので、一番前の人は椅子に座らないように呼びかけてほしいなと思っています。椅子に座りたければ自由席に椅子を持って行って座った方がいいのではないかと思います。どうぞよろしくお願ひします。

→ 貴重なご意見誠にありがとうございます。ご不便・ご不快な思いをさせてしまったこと、お詫び申し上げます。保護者席での観覧については、学校（PTA）において、基本的な約束事やマナーについて、ご周知させていただいておりますが、最終的には、各保護者様の自主的な観覧マナーやお気遣い、お声がけもあって成り立つものと承知しております。本部席より、またはPTAより、アナウンスにてお知らせするような対応も検討してまいります。まずは、次年度以降も、子どもも保護者様も気持ちよく実施・観覧できる運動会の計画に努めてまいります。なお、保護者席や観覧の在り方については、世帯数の減少から、区画席の設定（くじ引き）から見直すことも検討してまいります。

◆ なかなか授業が理解出来ていないことが多かったり、忘れ物や、提出物を学校に出し忘れてたりが未だに多いです。提出忘れに関しては先生からも一声かけて頂けると助かります。何かありましたら連絡頂けると助かりますのでよろしくお願ひします。

→ ご心配の声、確かに承りました。それぞれのお子さんの個性や困り感、学習の理解度については、定期的な個人懇談でお知らせいたしますが、それ以外にも、家庭・学校で連携を密にし、協力していくことが、お子さんの確かな成長につながります。学校ではこれからも、お子さんの学習状況や困り感に応じながら、学習指導、学級経営の改善に努めてまいります。引き続き、ご協力をお願い申し上げます。

◆ It's all right to attend this school. Thank you to all the teachers who helped me in everything.

→ 励みになるご意見を頂戴し、誠にありがとうございます。
これからも、何か心配なこと、お困りのことがございましたら、学校まで気兼ねなくご連絡、ご相談ください。

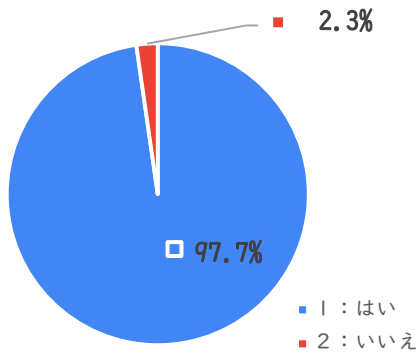
◆	<p>前も言いましたが世界一ワクチン打って感染対策にマスク消毒3密を徹底して、今年入って世界中の新規感染者の数の半数以上が長い間ずっと日本が世界1位だったのはご存知ですか。飛沫はすぐ下に落ちます、重いので。マスクにベトベトについて唾液が気化してウイルスも撒き散らしていたり色々論文も出てきましたが、どうしても日本のテレビマスコミは徹底して隠すので。でも隠していても、現状みたらマスクもワクチンも必要ないのは大人ならわかるような気がします。</p> <p>検査したところ成人の8割近くに血液からマイクロカプセルが検出されたニュースはご存知ですか。マスクしてたら吸い込みますもんね。ガンも増えました、酸素不足が一番悪いですもんね。と、勝手に心配しておりました。風邪は辛いです、いままでも。ただ、コロナは大変！と刷り込まれているとコロナになると大変だった！と。いや、今までの風邪も本当につらかったなど。ニュースはコロナ後遺症を謳いたいようですが、現状はワクチン後遺症の方がダントツ多いようです。必要以上に気にする大人がいるので子供もまだ外せない子もいますね。言い方悪いですが、先生たちもじゅうぶん戦犯だと思いました。子供達を預かる身として、そのくらいのニュースは目にして欲しいなと思っています。</p>
◆	<p>補足です。</p> <p>コロナは飛沫感染ではなく空気感染です。空気吸っている以上、マスクしようがしていなくても、うつるもんはうつります。今までの正常な生活に全て戻らなくても、マスクもなく元気な暮らしに戻ったらいいな！と思っている先生がどれくらいいるのかなーと悲しく思う時があります。子供達からはなかなか行動できません。マスクしなさいと学校や先生方にガチガチに固められました。するしないの自由なんてなかったです。いまさら自由だよ！と言われても怒られるかも。人の目が気になる。という子達いますよね、それを作ったのも大人です。戦犯は大人です。大人の責任です。大人が率先して元の暮らしに戻しましょう、と思います。学べば、わかることです。外で1人でマスクをする人がまだまだいます。色々なデータを教えてあげたくります。それこそ病気になるたくてマスクしたいなら自由ですが。大人が顔見せたくなくて隠すのはどうぞご勝手に。なぜ新聞テレビしか信じないのでしょうか。おかしい。と気づかないのでしょうか。わたしには右向け右の羊に見えます。</p>

→ 貴重なご意見誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症(Covid-19)について、またその感染拡大・予防対策については、それぞれにお考えをおもちの方がいらっしゃるかと存じます。そんな中、学校では、学校保健安全法並びに、国から出されております衛生管理マニュアルを基本とした、その状況下における、国、北海道、登別市の対策方針並びに通知・指示に従って対応して参りました。また、本年(令和5年)5月8日以降につきましては、上記感染症が、感染症の取扱いとして2類相当から5類に変更になったことにより、基本的感染対策は他の感染症対策(インフルエンザ等)と同様に行うこととしたことと合わせ、マスクの着用についても、国・道・市の通知・通達に従い、子どもにも、大人にも、基本的に「着用することも、着用しないことも」強制しないこととしております。これは、児童に限らず、来校される地域の皆様、保護者様、教職員も同様です。ただし、家庭科の調理実習や、給食の配膳などにおいて、飛沫(つば)の観点から、一時的に着用するように指示すること(エプロンや三角巾の着用と同様の考え方です。)、体育の時間や気温の上昇に合わせ、熱中症予防の観点からマスクを一時的に外すことの指示をすることはございます。

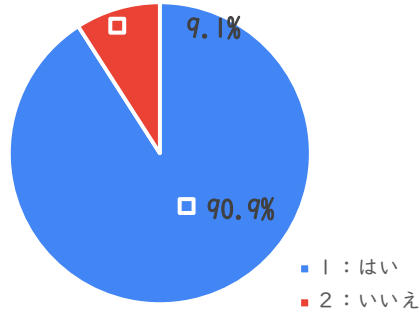
学校としましては、ご指摘いただきました通り、すべての子どもたちにとって元気な暮らしが戻ってまいりよう、これからの季節の熱中症予防や、マスク着用による息苦しさには十分配慮しながら、教育活動を行ってまいります。また、既往症など健康上の理由やお考えから、マスクを着用したい子(したいご家庭)、また、ご意見の通り、マスクを外したい子(外したいご家庭)のどちらにも配慮をしながら、そのことによってお子さんが、差別や偏見、いじめの被害者にも加害者にもならないよう、指導・支援してまいります。何卒、ご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

児童アンケート

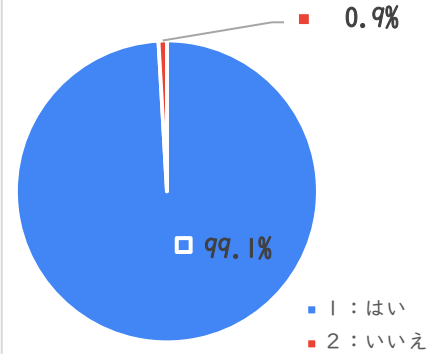
1. 先生の 勉強の 教え方は よくわかりますか



2. 授業中、自分の考えをもち、友達と話し合うことで、新しいことに気付いたり、発見したり、考えを広げたりすることができていますか。

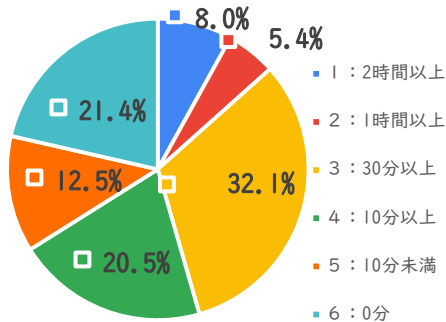


3. タブレットを使った勉強は楽しいですか

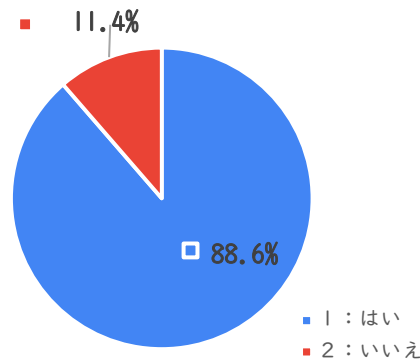


1. 勉強の教え方、3. タブレットを使用した勉強については、前回のアンケートと、大きな数値の変動はありませんでした。2. の学習中の友達等との「対話(グループやペア学習など)」については、約4%程度、減少しています。教師自身の「教え方」の改善だけでなく、時には子供たちどうして、時には自分で、など、様々な方法で、「よりよく学べる」よう、今後も授業改善を進めてまいります。

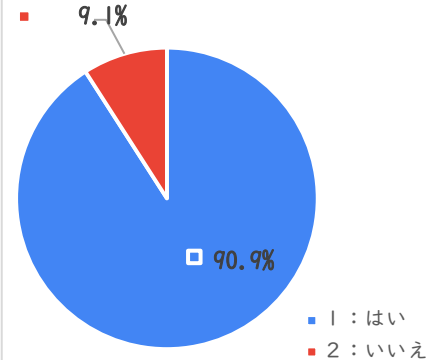
4. 学校の勉強時間以外に、普段(月から金)一日あたりどれくらいの時間読書をしますか



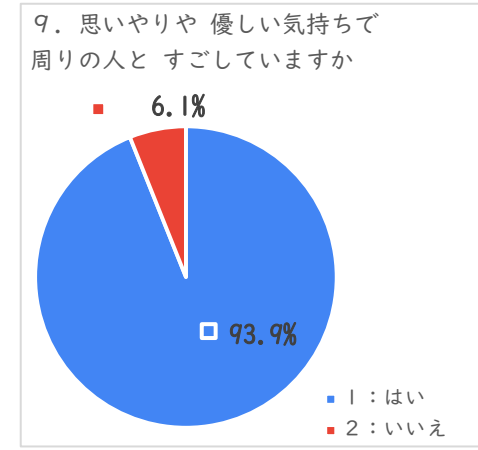
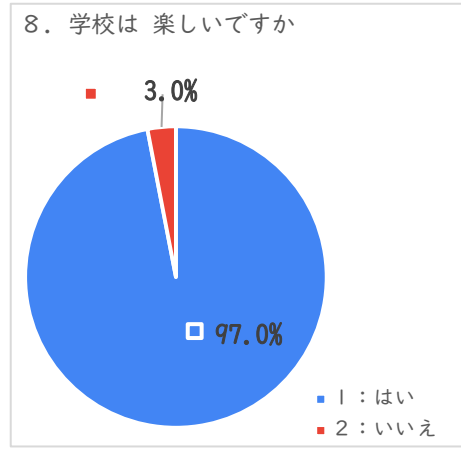
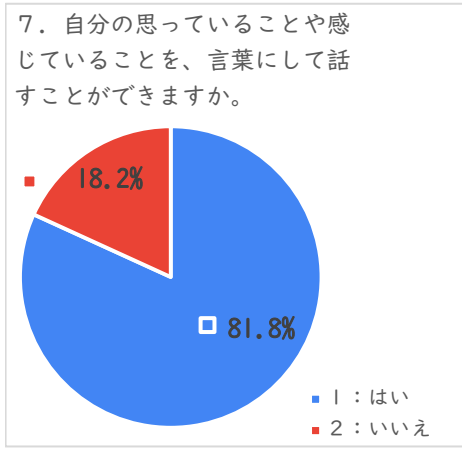
5. すすんで体を動かしたり運動したりしていますか



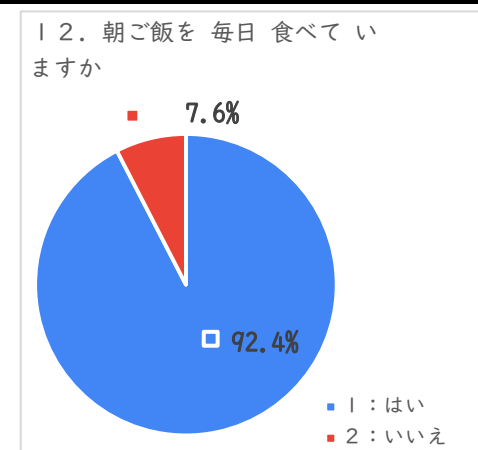
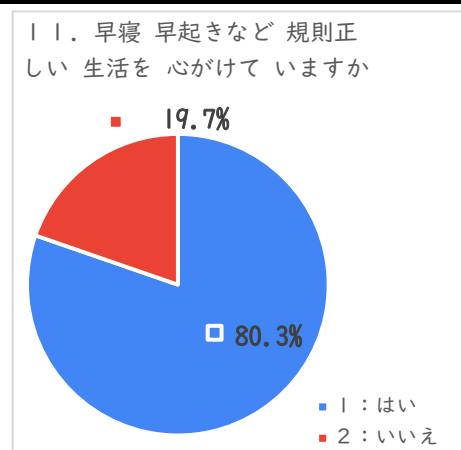
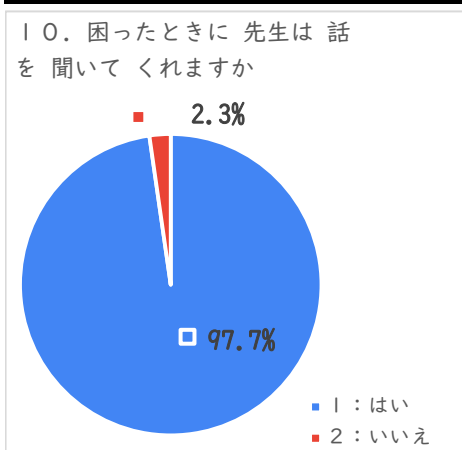
6. 自分にはよいところがあると思いますか



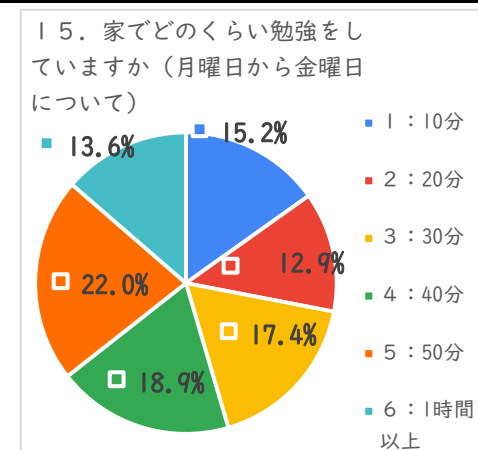
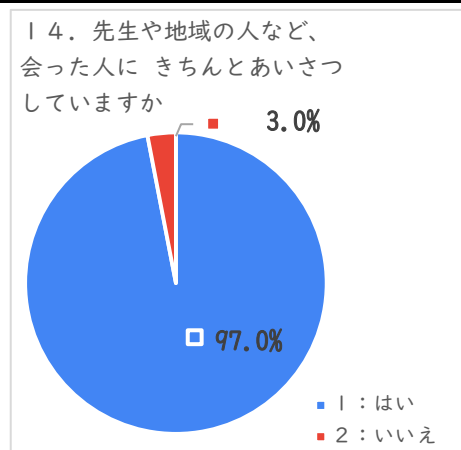
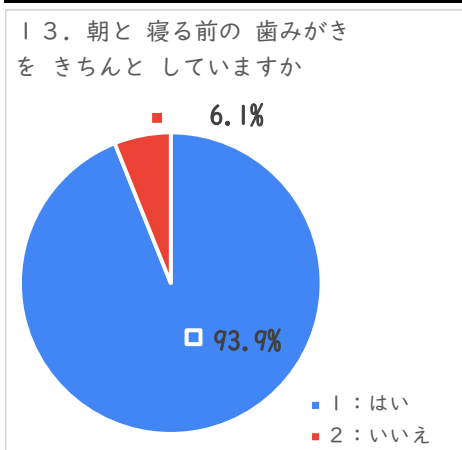
4. の読書時間については、0分の子が全体の約21%と、昨年度から、さらに5%増加しました。確かに、「平日毎日」、長時間読書をするのはあまり現実的ではありませんが、お子さんに学習や読書を勧める傍らで、「家族がタブレットやスマホをさわっていたり、テレビを見ている。」ということはないでしょうか。ノーメディアデーの取組に合わせ、メディアに触れずに、親子で本に親しむ時間をとるのもいいですね。5. の運動に関する質問、6. の自己肯定感に関する回答は、前回と概ね変動なしでしたが、10%近いお子さんが、自分にはよいところがあると、回答していないことが気になります。今後とも、ご家庭でもお子さんが、『**かけがえのない存在である**』ことを、折に触れて話題にしてくださいませ幸いです。



8.の質問では、学校が楽しいと思って登校しているお子さんが約5%程度、改善しました。7. 9.の質問では、大きな数値の変動はありませんでしたが、約2割の子どもたちが、自分の思いや考えを、言葉にして話すことを苦手に行っていることが分かります。先ほどの2.の質問とも関連しますが、『自分の考えを、きちんと伝える。』『相手に分かるように伝える』など「相手意識」をもって話したり書いたり、時には聞いたり、受け止めたりできる子どもたちを、ご家庭と協力して育てていきたいと思います。

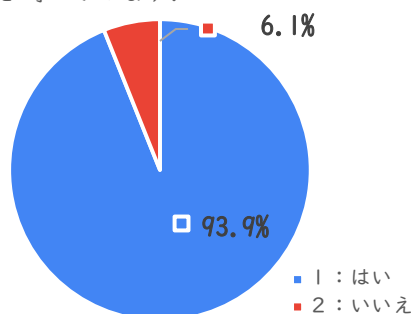


10.の質問では、大きな数値の変化はありませんでした。今後も子どもたちの困り感を、つぶさにキャッチできるよう、引き続き努めてまいります。
11. 12. 13.については、それぞれ、毎日の生活と、健康を支える大切な習慣です。やや、12.の朝ご飯の習慣が若干ですが減少傾向にあるのが気になるところです。早寝・早起き、朝食、歯磨きについては、引き続き、ご家庭のご協力をお願いいたします。

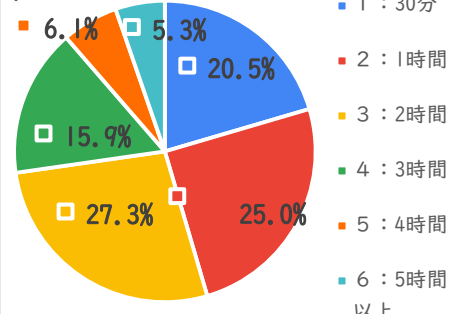


14.の挨拶に関する質問は、若干の改善が見られましたが、保護者アンケートでは、逆に、身に付いていない、と感じる保護者様が増えているようでした。家庭での様子と、学校での様子、地域での様子に、それぞれ差があるのかもしれませんが。
15.の学習時間については、30分以上取り組んでいる児童が、全体の71.9%となっており、これは、改善傾向にあった昨年度までに比べ、若干減少しています。保護者アンケート考察にも記載しましたとおり、家庭学習は、時間と同様に、どんなことに取り組むか、どんな風に取り組むかが大事です。テレビに意識が傾いている、なんとなく座っているうちに時間はたった。ということのないよう、今後ともお声がけをお願いいたします。

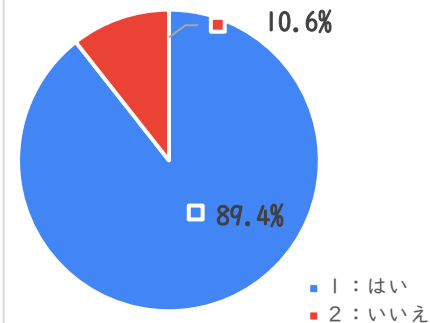
16. ゲームやスマートフォン、テレビ、インターネット、メール、SNS などについて、家での約束を守っていますか



17. 家でゲームやスマホ、テレビ、インターネット、メール、SNS などをする時間はどれくらいですか

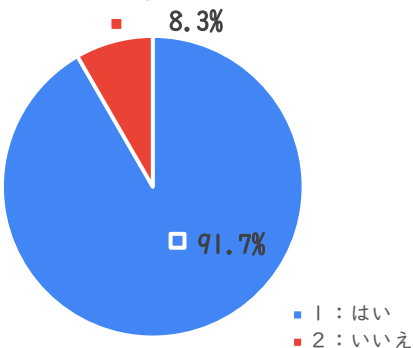


18. 国語や算数の授業では、どこに気を付けて読んだらよいかを考えて、文章や問題を読んでいますか

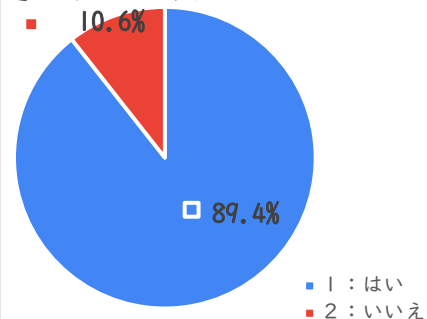


16. 電子メディアを使用する際に、家での約束を守っているかどうかの質問は4%程度改善しています。時間でみると、**1日1時間程度以内に収まっているのは、全体の45.5%で、過去一番芳しくなかった昨年に比べ、やや改善しました。(目標は1時間!)**。一方、1日3時間以上メディアにふれている児童の割合は、**一昨年から26.1%→32.0%→30.1%→27.7%→27.7%→27.3%**と、**やや改善の傾向で推移しているものの、3割程度の高止まり、とも言えます。保護者アンケートでの回答とも、概ね合致していました。(ずれは2.5%程度)** アウトメディアチャレンジ週間やノーメディアデーの取組は、学校での啓発・指導の意味で行っているものですが、「**その実践の場は家庭です。**」あらためてお子さんと「**一日の使用時間の約束**」「**使い方の約束**」を確認するとともに、特にスマホやSNS、インターネット接続の際は、トラブルに巻き込まれない・トラブルを生まないネットモラルやマナーについてもご指導をお願いいたします。

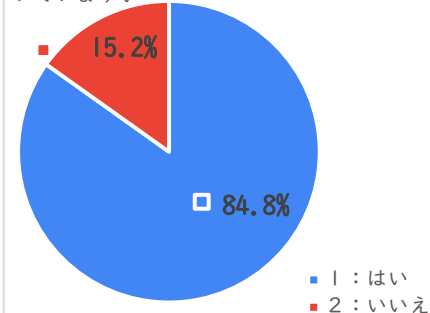
19. 国語の授業では、その日の課題や単元のゴールを意識して、勉強の計画を立てたり、考えたりしていますか



20. 算数の授業では、その日の課題を意識して勉強したり、分かったことをまとめたり、その日の学習を振り返ったりしていますか



21. 授業中、問題の解き方や、考えたことが、伝えたい相手に伝わるように、ノートやタブレットに書いていますか



18の質問は、昨年度と大きな差異はなく、19, 20.の質問は今年度からの質問です。特に国語と算数の学習にかかわることで、18から21までの回答数値がよくないということは、「**学校が授業改善を意識しなくてはいけない**」ということだと考えます。子どもたちが、授業中に、課題意識・目的意識をしっかりとって主体的に取り組めるような工夫、また、その日、自分が何を身に付けて、何が課題だったのかを振り返る工夫、そして、相手意識をもって、ノートやタブレットを活用しながら他者と学び合える活動の工夫など、今後も授業改善を続けてまいります。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

引き続き、本校の教育活動に対し、ご理解・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。